

2016 年 12 月 7 日

日本発、全身性の核酸医薬の開発を目指す バイオベンチャーNapaJen Pharma, Inc. への追加投資を決定

株式会社産業革新機構(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝又幹英、以下「INCJ」)は、全身性の核酸医薬の開発を目指すバイオベンチャーNapaJen Pharma, Inc. (本社:米国カリフォルニア州、代表取締役 安藤弘法、以下「NapaJen Pharma」)の第三者割当増資を引き受け、医薬品の開発資金として 12 百万 US ドルを上限とする追加投資を行うことを決定しました。

また、既存投資家である Mitsui & Co. Global Investment, Inc.、新規投資家として、ニッセイ・キャピタル株式会社が運用するファンド、およびみずほ成長支援第2号投資事業有限責任組合(無限責任組合員 みずほキャピタル株式会社)も同社への出資を決定しています。

NapaJen Pharma は、北九州市立大学の研究成果である核酸医薬ドラッグデリバリーシステム(以下、DDS)のプラットフォーム技術の実用化のため、同技術を活用した医薬品の開発を目指して 2004 年に設立された創薬ベンチャーです。

近年では、難治性疾患に対して、遺伝子レベルでアプローチができる核酸医薬に期待が寄せられ、世界中で研究開発が進められています。しかし、核酸単独では期待する薬効が発揮される前に体内で分解されてしまい、最終地点まで届かないという課題があります。そのような課題に対して、DDS は、標的の遺伝子に核酸医薬を到達させることを可能にする革新的な技術です。

NapaJen Pharma は、核酸医薬の DDS プラットフォーム技術の研究開発を進めており、現在は複数のアカデミアとの共同研究や、事業会社とのライセンス締結に至っております。次段階として、今回の追加出資を活用して非臨床試験を完遂し、米国食品医薬品局(FDA=Food and Drug Administration)への臨床試験申請(IND 申請)を目指して、開発をより一層推進していきます。

INCJ は、2014 年 2 月に医薬品の初期開発費として 9 百万 US ドルを上限とする出資を決定するとともに、社外取締役を派遣するなど経営面でのサポートを行ってきました。INCJ は NapaJen Pharma への継続的な支援を通して、革新的な創薬技術によって、日本発、全身性の核酸医薬開発の成功をサポートするとともに、大学発創薬ベンチャーの開発支援を通して、バイオベンチャー業界のエコシステムの確立を目指します。

参考) INCJ は、2014 年 2 月に、「ドラッグデリバリーシステム (DDS) 技術を用いた
核酸医薬等の医薬品開発を目指す NapaJen Pharma, Inc.への出資を決定」を公表しています。

URL : http://www.incj.co.jp/investment/deal_064.html

NapaJen Pharma, Inc. (ナパジェンファーマ インク) について

設立	2004 年 12 月
事業内容	核酸等の DDS プラットフォーム事業および、DDS 技術を用いた医薬品の 開発事業
所在地	米国カリフォルニア州
代表者	安藤 弘法
URL	http://www.napajen.com/

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を
目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、
革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッション
としています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、
法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従
って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

＜本発表資料のお問い合わせ先＞

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr 広報 入江、坂井

東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階

電 話 : 03-5218-7202